

東京等における県産本格焼酎戦略的PR事業仕様書（案）

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県産本格焼酎の消費量が減少している中、県酒造組合をはじめ業界と連携して、新たな市場開拓及び販路拡大を図るため、東京等において戦略的プロモーションを展開する。

2 概要

県産本格焼酎の県外課税移出数量が最も多い首都圏（東京）において、新たな飲み方（焼酎ソーダ割）や家飲み需要を提案する戦略的プロモーションを実施することで、近年市場拡大傾向の炭酸割り市場への県産本格焼酎の参入を促進するとともに、家飲み需要の消費喚起を図る。

3 事業内容

(1) 東京等における戦略的プロモーションの展開

- ① 酒離れが進む若者やハイボールなど炭酸割りを飲酒する層をターゲットに、大消費地東京を中心に、県産本格焼酎の「焼酎ソーダ割」を戦略的なプロモーションを実施する。
- ② コロナ禍における家飲み需要を喚起するために、オンラインやSNS等を活用した戦略的プロモーションを実施する。
- ③ 上記、戦略的プロモーションを実施するに当たり、成果（目標）数値（販売量、集客数、取扱銘柄数、ウェブ等のアクセス数など）の設定を行うこと。
- ④ その他、下記県の首都圏におけるイベント等（予定）との連携に努めること。

（イベント等）

- ・ 7月以降開催予定の首都圏以北における焼酎キャンペーン（場所：（株）やまや・（株）カクヤス店舗内）
- ・ 11月開催予定の「焼酎まつり」（場所：日比谷ゴジラスクウェア）
- ・ 7月末開催予定の「鹿児島フェア（仮）」（場所：東武池袋店）

4 必要書類

- (1) 実績報告書（事業の成果に関する資料）及び委託業務終了届……………事業終了後提出
- (2) その他必要と認める書類

5 予算額

20,000千円以内